

教員コラム

『都会と田舎』

専任講師 中野 久美子



食に関することを専門に教育や研究をしています。田舎での農業や生活から学ぶことがとても多いことに最近気が付きました。

短大での教員の仕事のある時は、大阪市北区の家から通っていますが、丹波篠山市に古民家の自宅があり、連休等にはよく行っています。その田舎では、お米や黒豆、季節の野菜をつくっています。土井善晴先生がいつもお話しされているような自然との共存・共鳴を大切にする心や地に足が着いた暮らしの方法を知り学んでいます。

このようにお伝えすると、まるで私が日々農業に従事しているようですが、私はもっぱら種蒔き・収穫と収穫物をおいしく食べて楽しんでいただけです。また、家の改装では壁に漆喰を塗ることを体験し現在もはまっています。学生の皆さんにも田舎での生活や農業等を体験できるようにフィールドワークを企画したいと考えています。



収穫が待ち遠しい丹波黒枝豆

データサイエンス授業紹介②

准教授 森井 裕史
准教授 藤原 牧子

令和五年度、文部科学省より「数理・データサイエンス・AIプログラム（リテラシーレベル）」に認定された本学は、今年度前期にIT事業を展開する株式会社React社長の木村晋輔氏の講義を受けました。また、後期からは荊木拓（いばらき ひろし）先生が着任し、「IT技術II」や「情報リテラシー基礎」などの授業を担当しています。

荊木先生は日本と海外のサイバーセキュリティ教育が専門で、授業においても情報セキュリティについての講義をしています。

先生は「日本ではいま2025DX問題が盛んに取りざたされていますが、世界各国では陸・海・空に次ぐ第四の戦場と言われているサイバー空間のセキュリティを学ぶことは喫緊のテーマです」と話されています。

また、本学の学生ははじめに授業に臨み、課題に対しても真摯に取り組んでいるこのことで、先生はITパスポートやマイクロソフトスペシャリストなど、社会に出てからも役立つ資格取得に向け意欲的です。学生もそれに応え頑張っています。